

COLUMN



インターネット

生活向上委員会

06

ブログツールを利用した アイデア管理

森崎 修司 (株インターネットイニシアティブ)
morisaki@ij.ad.jp

論文の一部分、実験の結果、設計案をはじめとして
推敲途中にある文章や個人的なメモの保存、管理場所に
困ったことはないだろうか。外向けのイメージの強いブ
ログツールが個人的なメモや文章の保存、管理といった
内向けの利用にも重宝する。今回は簡単にブログについ
て述べた後、ブログツールを紹介し、メモ、文章の保存、
管理に使った場合の利点について述べる。本稿ではプロ
グやブログツールの詳細には触れない。より詳細な情報
は文献1)を参考にされたい。

●ブログ●

ブログ(blog)はweblogの短縮形であり、通常、個人(ブ
ログ著者)が所有するWebページもしくはその集合であ
る。ブログはエントリーと呼ぶ小記事の連結により構成さ
れ、1日に1エントリー、1週間に1エントリーなど比較的頻
繁に追加、更新される。エントリーの内容は自由形式であ
り、量、書式、形式に制限や決まりはない。サイト全体
がエントリーの蓄積によりできあがるのがweblogと呼
ばれる由来であろう。

●ブログツールの機能●

ブログ著者に編集、整形支援機能を提供し、ブログ作
成を支援するソフトウェアをブログツールと呼ぶ。多く
のブログツールは次の機能を提供している。なお画面例
はBlogger²⁾のものである。

●既存エントリーの一覧・管理機能

エントリーのタイトル、作成日を一覧できる。図-1は
一覧・管理機能の画面例であり2004年6月27日に作

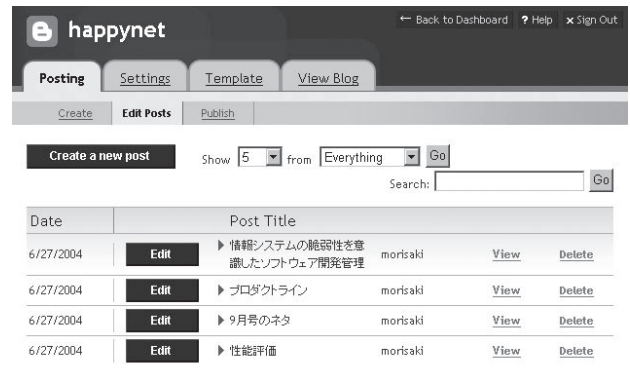


図-1 既存エントリーの一覧



図-2 エントリーの編集

成された4つのエントリーの一覧が表示されている。ま
た、エントリーを削除できる。

●エントリーの編集機能

エントリーのタイトル(図-2中“Title”)と本文(図-2中)
を入力、保存できる。保存するとき公開しない(図-2
中“Save as Draft”ボタン)か、公開する(図-2中“Publish
Post”ボタン)かを選択できる。エントリーは新規に作成
することも既存のものを編集することもできる。

●ページ生成機能

エントリーを連結して生成されたページを得ることがで
きる。図-3は生成されたページ例であり、左側に“情
報システムの脆弱性を意識したソフトウェア開発管
理”、“プロダクトライン”というタイトルの2つのエ
ントリーが連結されており、タイトルの後に本文が続い
ている。

●レイアウト・装飾定義機能

スタイルシートの編集等により、レイアウト、装飾を
定義できる。いったん定義すれば以降のページ生成時
に毎回適用される。デフォルトの定義に従えば設定の



図-3 生成されたページ

必要はない場合が多い。

● コメント編集機能

コメント編集画面をブログ読者に提供し、公開されたエントリごとに得られたコメントを閲覧できる。図-3の1つ目のエントリの最下段の“1 comments”は読者のコメントが1つあることを示し、読者のコメントへのハイパーリンクになっている。

● ブログツールをアイデア管理に利用 ●

通常、ブログはエントリの修正よりもエントリの追加のほうが多い傾向にあるが、ブログツールは利用方法をこのような形態に限定しているわけではない。アイデアを温めたり、推敲したりするなど比較的少数のエントリを頻繁に修正し、その経過を一覧できるという点で、ブログツールはこのような用途にもピッタリである。具体的には1つのアイデアやテーマを1エントリとして管理し(図-1)、追加、修正を行う。たとえば図-3中の下段のように単なるURLのメモといったレベルからはじまり、考慮すべき項目を並べたり、アイデアを追加したり、推敲を重ねたりして、最終的には、図-3の上段のように他者が読んでも理解できような文章(例は論文のアブストラクト)とする。

ブログツールを利用することにより次の手間を軽減することができる。

● 管理の手間

すべてのエントリを1カ所にまとめられるので編集開始、終了のオーバーヘッドが小さい。Webブラウザがあれば編集できるので、ふと思いついたことをメモにとっておきたいとき、適切な表現を思いついたときなど手軽に記録に残しておくことができる。また、メモの紛失など後から参照する際のトラブルも防ぐことができる。

● 整形の手間

レイアウトや装飾に関する指定を毎回することなく整形されたページを得ることができる。

また、次のようなメリットがある。

● 多様なブログツールが入手可能

多数のブログツールが開発されており選択肢は広い。また、提供形態もサービス提供、ソフトウェア配布から選べる。

● エントリをもれなく一覧可能

エントリの一覧機能を使えば、アイデアやテーマの一覧を自動生成できるため、長期間更新されていないエントリの存在を忘れることを防げる。

● セキュリティ設定が容易

エントリごとに公開、非公開を選べるので、公開したくないメモも保存できる。Webサーバの設定により、生成されたページに対するブログ読者のアクセスを制限することも可能である。

● ブログ読者のコメントを受け取れる機能

エントリを公開すればブログ読者がコメントを入力するための仕組みを利用して、エントリに対するフィードバックを得ることができる。

ブログツールをアイデア管理ツールとして利用する方法を紹介した。ブログツールを使いながらも推敲を重ねて書いたページを通常のブログと区別してノートと定義するユーザやブログツールを推敲ツールと位置づけるユーザも少なくない。まずは備忘録として利用すればその価値を分かっていただけではないかと思う。

参考文献

- 1) 武田英明, 大向一輝: Weblogの現在と展望, 情報処理, Vol.45, No.6, pp.586-593 (June 2004).
- 2) Blogger Dashboard, <http://www.blogger.com>

(平成16年7月22日受付)